

平成27年度 まちづくり推進部 雄物川地域局 方針書

まちづくり推進部 雄物川地域局長 杉山 哲

1. 雄物川地域局の使命（役割）

- ・地域市民の身近な窓口として、信頼される地域行政の拠点をめざす。

2. 平成27年度における課題（前年度の振り返りから）

- ・小学校、保育所の跡地利用について、各地区会議等と連携して取り組んでいく。
- ・各地区交流センターを核にしながら、共助意識の醸成を図る。
- ・雄物川小学校の通学路等の安全確保と危険個所の解消を図る。

3. 平成27年度の『スローガン』

職員も地域の一員。地域市民と一緒に考え、一緒に行動しよう。

4. 年度目標となる方針（目標）

1. 地域が元気になれる地域づくり。
2. 共助による安全安心な地域づくり。
3. 現場第一主義の地域局づくり。

5. 重点取組項目

(1)	項目	「地域おこし、人づくり」の取り組み
	取組内容	・行政主導のイベントからの脱却 ・地域リーダーの発掘、育成 ・地域を担う若者(高校生)のイベント等への参加 ・中央公園、河川公園等の地域資源の有効活用 ・他地域との交流の推進(直売所等)
(2)	項目	地区交流センターの取り組み
	取組内容	・地区交流センターの運営に関わる地域局の積極的な支援と連携 ・地区交流センターを核とした安心安全な地域づくりの推進(徘徊見守り訓練、防災訓練等の実施) ・民生委員、社協等との連携による共助意識の醸成と組織化の推進 ・自主防災組織の確立に向けた取り組み
(3)	項目	
	取組内容	

6. 方針に対する年度上期（4月～9月）の取組みの状況 【現状】

「地域おこし、人づくり」の取組み

- ・第1回さくら祭り開催は地域を担う若手リーダーの育成に大きな成果があった。また、地元高校生の協力により地域に密着したイベントとなった。
- ・地元特産のスイカを活用した「スイカソフトクリーム」の試作に挑戦。これにも地元高校生を巻き込み、アイデアを出してもらった。「スイカソフト」には雄物川小学校の学校農園で作ったスイカを使用した。

地区交流センターの取組み

- ・5地区交流センター合同の活動報告会、先進地視察などを開催し、意見交換、情報交換を行い、今後の取組みの参考とした。
- ・公民館報の発行により、地域に活動内容の周知が図られてきた。
- ・新たな取組みが行われてきた（囲碁教室、観賞菊教室、防災体験教室、キルト展示会、歴史探訪など）。

7. 年度下期（10月～3月）に向けた課題と取組みの方針【ギャップと対策】

「地域おこし、人づくり」の取組み

- ・来年度に向けたさくら祭りへの早期の取組みと、若手リーダーの育成。
- ・「スイカソフトクリーム」の販売への取組み。
- ・地元特産品である「まつたけ」発生のための地元組織との連携と先進地視察等の実施。

地区交流センターの取組み

- ・上半期の活動の振り返りと、下半期の活動計画の強化。
- ・交流センター相互の情報、意見交換と翌年度に向けた活動計画への取組み。
- ・共助意識の向上を目指した活動への取組み強化。
- ・事務局体制の強化と、各種団体等との連携強化による地域活動への積極的参加。

8. 総括 取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】

「地域おこし、人づくり」の取組み

- ・第1回さくら祭りは、若手による実行委員会の立ち上げに成功したほか、地元の高校生の参加・協力も得られたことから、今後のイベント等への大きな弾みとなった。
- ・あきらめかけていた地元特産の「まつたけ」については、長野県のまつたけ専門農家による研修会の開催と、長野県の現地視察を実施したことから、関係集落の方々の意欲が大いに盛りあがった。次年度以降の取組みに期待したい。

地区交流センターの取組み

- ・準備会が無事発足し、交流センターが少しずつではあるがそれぞれ新たな取組みを行えるようになってきた。また、5交流センター合同の活動報告会を開催し、意見交換、情報交換を行った。今後は共助に結び付くような活動を期待したい。
- ・次年度以降は、さらに組織が活発に活動できるように地域づくり協議会や地区会議との連携を強化していきたい。